

シンガポール 「PARCO Marina Bay」 2010年3月31日(水) オープン

株式会社パルコの100%子会社 PARCO(Singapore) Pte Ltd(代表取締役社長:日高州一、以下、パルコシンガポール社)は、シンガポール・マリーナエリア「Millenia Walk(ミレニアウオーク)」内に、「PARCO Marina Bay」をオープンいたしますので、その概要についてお知らせいたします。



■出店の経緯

「PARCO Marina Bay」が位置するマリーナ地区は、現在、シンガポール有数の開発推進エリアであり、大型カジノ・新規オフィス街開発・地下鉄新線整備(2線)が行われるなど、就業者、観光客による潜在需要の増加が見込まれるエリアです。

パルコシンガポール社では、1995年から蓄積した現地マーケットにおける実績に基づき、「PARCO」ブランドによる新規商業施設に取り組むためのリサーチを重ねた結果、今後の発展性の高いマリーナ地区に「PARCO Marina Bay」のオープンを決定いたしました。

同エリアに、ショッピングモール・オフィス2棟・5つ星ホテル2棟を所有する、シンガポールの大手不動産開発企業 PONTIAC LAND PRIVATE LIMITED(ポンティアックランドプライベートリミテッド)の商業施設「Millenia Walk(ミレニアウオーク)」の一部区画(地上1階～3階、7,825㎡(2,367坪))をマスターリースし、パルコのデザイン力やショップオペレーション等のノウハウに基づいた商業施設をオープンいたします。

■シンガポールマーケットについて

○東南アジアの金融・経済の中心地であり、商業集積も東南アジア随一のポジション。

シンガポールは関税の撤廃・貿易システムのオンライン化などの機能を整え、物品・人・サービス・資本・情報の移動の自由向上を図り、東南アジア経済の中心的役割を果たしています。

香港と並び、欧米諸国のグローバル企業のアジア太平洋地域の拠点が置かれることが多く、東南アジアの金融センターとしての不動の位置を保っています。

また、近年は、中心地・郊外ともに新規商業施設のオープンが相次ぎ、活況を呈しているほか、日系企業が多数進出し、現地で成功を収める様子は、日本のメディアでも数多く取り上げられております。

■「PARCO Marina Bay」のコンセプト

● 20代～30代の“消費成熟世代”ニーズを満足させる、「一歩先・少し上質」(モノ・場所・時間)を提供。

豊かな感性を持つ消費者に向けて食・雑貨・カルチャー・ビューティなど幅広いアイテムをコンパクトに編集した利用しやすいビルを目指します。

- 1) 充実した品揃えと上質な化粧品／ビューティゾーン。
- 2) シンガポールブランドを中心に編集した ファッションゾーンに加え、新たにシンガポールの若手デザイナーのインキュベートを目指した「PARCO next NEXT」ゾーンを展開
- 3) シンガポールマーケット初進出となる、日系レストランを中心としたレストランゾーン
- 4) 日本のパルコ各店を手がける パルコデザインチームによるスタイリッシュな内装デザイン。
- 5) 来店客がショッピングしやすいよう、シンガポール初の開放的なオープンコンセプト(店舗ごとのシャッターのない、日本の商業施設スタイル)を採用。

1)ターゲット

近隣に多国籍企業が入居するオフィスタワー、5つ星ホテル、観光名所・大型商業施設などが立ち並ぶロケーションを活かし、

- ・ 周辺オフィスに通う、インターナショナルな感度を持つ
オフィスワーカー(20代～30代の女性中心)
- ・ 既存のシンガポール型商業施設に飽き足らず、新たなショッピング
体験を待ち望む、高感度な消費者
- ・ 当エリアを滞在拠点とする観光客や、シンガポールフライヤー(観覧車)
カジノ(2010年開業予定)などの観光スポットを楽しむ観光客

に向けたテナントミックスをいたします。

また、住宅街の郊外と中心地を結ぶ地下鉄新線「Circle line」の開業区間が伸延し、新駅「Promenade」駅が2010年4月17日に開業(シンガポール政府発表)。同駅は「PARCO Marina Bay」と直結するため、現在の来街者の他に、新たな交通導線による広域からの来店客が見込まれます。



2階 入口

2)フロア構成・ショップ編成

○スターデザイナーを目指す若手デザイナーが25ブランド集積！

○レストランゾーンにはシンガポール初登場の日系レストラン等、選りすぐりの7店舗がオープン。

コンパクトながらも、ファッション・ビューティ・雑貨・飲食などを網羅した構成となっております。

(全店舗(108店舗)のうち、日系企業は13店舗)

特に、ファッションアイテムは、「PARCO next NEXT」を構成する若手デザイナー25ブランドが集合するほか、ローカルのファッションブランドにこだわり、従来の大型商業施設とは違う、小粒ながらセンスの利いた、フレッシュなブランドを集積。

また、大きなチャームポイントとなるレストランゾーンには、シンガポールで大人気を博す日本ラーメンの初進出店舗(「けいすけ」・「なんつッ亭」)ほか、新潟の本格的寿司レストラン「富寿し」、シンガポールで鮮魚専門店実績ある、PTC-NAKAJIMA SUISAN による和食レストランなどが日本同様のクオリティと店舗デザインを備え登場いたします。

<1階 ファッション・コスメ・雑貨・カフェ>

地下鉄地上出口の目の前に、1階ゾーンが広がります。

毎日の仕事帰り・空き時間に利用されることも多いロケーション特性にあわせ、コスメティック、靴・バッグなどのファッション雑貨、スポーツアイテム、カフェなど幅広いバラエティで構成いたしました。

化粧品に関しても、従来の百貨店コスメとキャラクターの異なる自然派本格コスメを集め、1階のセンター部分に、柔らかさと癒しの空間を作り出します。

タイのハーブ系コスメ「HARNN」、プロヴァンスの自然派コスメ

「Durance」、日系のメディカルコスメ「ドクターシーラボ」はじめ、9ブランドが集合します。



1階 中央エリア

<2階 レディースファッション・インキュベーターゾーン「PARCO next NEXT」>

2階には、約170坪の、若手シンガポールデザイナー インキュベーターゾーンをシンガポール政府機関

「SPRING Singapore」・ファッション協会「TaFf」と連動し、展開いたします。また、ローカルのファッション

ブランドを中心に編集することにより、周辺OLのみならず観光客に対しても「シンガポールでしか買えないファッションブランドが集まる場所」としてのポジションを築き上げていきます。



「PARCO next NEXT」ロゴ



2階 若手デザイナーインキュベーターゾーン
「PARCO next NEXT」



「PARCO next NEXT」のデザイナー
(2009年11月開催のファッションショーにて)

<3階 レストラン・バラエティ雑貨・食材・ビューティ>

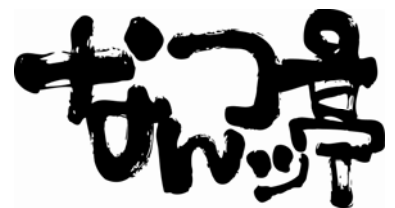
従来施設の天井を一新し、より明るい自然採光にあふれるフロアとなります。7店舗の集積するレストランゾーンには、共用部分に共通デザインを施し、味だけでなく、演出面でも東京のレストラン街を訪れている雰囲気を楽しんでいただけます。また、地元の書店「MPH」、日本のステーションナリー「NBC」など、オフィスワーカーの利便性を高めるショップのほか、日系の脱毛専門サロン「MUSEE PLATINUM TOKYO」、日本食材を扱う「ヤマカワスーパー」、酒・焼酎の「Sake-Inn」など、日本アイテムも多数揃うバラエティフロアとなります。



3階レストランゾーン

※主な日系出店テナント

- 1F ドクターシーラボ (化粧品)
- オクタホテル (雑貨・カフェ/海外・シンガポール初出店)
- 3F けいすけ (飲食(ラーメン)/海外・シンガポール初出店)
- なんつつ亭 (飲食(ラーメン)/海外・シンガポール初出店)
- 富寿し (飲食(寿司) / 海外・シンガポール初出店)
- MUSEE PLATINUM TOKYO (美容) 他 全13店舗



3)プロモーションについて

オープニングプロモーションについては、シンガポールマーケットにおいて既に浸透している「PARCO=JAPAN=TOKYO」というイメージを大切にしながら、現在の TOKYO を表現できるプロモーションを実施。

あわせて、「PARCO Marina Bay」で育っていく若手シンガポールデザイナーたちについても、積極的にイベントを行っていく予定です。

①「PARCO Marina Bay」ホームページスタート

公式ホームページほか、SNS機能をフル活用し情報発信オープンするショップ情報、様々な企画情報などは、「PARCO Marina Bay」ホームページに随時更新していきます。また、ホームページ上では、メーリングメンバー(Eメール会員)を募集し、イベント・セール等の情報をメールマガジンにてお届けしていきます。

「PARCO Marina Bay」の最新情報は、www.parco.com.sgでチェック下さい。



② TOKYO POP UP STORE～ 33 days limited store by 33 creators from Japan～

開催期間：2010年3月31日(土)～5月2日(日)

TOKYO POPUP STORE



33 DAYS LIMITED STORE
BY 33 CREATORS FROM JAPAN
3/31-5/2

東京らしさ、パルコらしさを表現するオープニングイベントとして、国立新美術館「スーベニアフロムトーキョー」、羽田空港「Tokyo's Tokyo」などを手がける、method・山田遊氏のディレクションによる「TOKYO POP UP STORE」(期間限定ショップ)を33日間限定でオープンし、各アーティストの作品を展示販売致します。33組のデザイナー・クリエイターたちのプロダクトほとんどが、シンガポール初上陸となると同時に、山田氏ディレクションの企画としては、海外初実施となります。

● 主な参加ブランド・アーティスト

SLEEVE BAG.
HIROCOLEDGE



HIROCOLEDGE



共栄デザイン



BLANK



EDING:POST



ディレクション 山田 遊(method)

そのほか、「PARCO Marina Bay」オープンを記念した特別セールや、お買い上げいただいた方の中から景品があたる抽選会 などのオープニング企画も予定しております。

■シンガポール「PARCO Marina Bay」概要

名称	PARCO Marina Bay
所在地	9 Raffles Boulevard, Millenia Walk, Singapore 039596
アクセス	MRT Circle Line「Promenade」駅 直結 MRT East-West Line / North-South Line 「City Hall」駅 徒歩 10分
建物規模	地上1階～3階
契約面積	約 7,825 m ² (2,367 坪)
出店形態	シンガポールの大手不動産開発企業である PONTIAC LAND PRIVATE LIMITED (ポンティアック ランド プライベート リミテッド) が所有する商業施設「Millenia Walk」の一部区画(上記記載規模)をマスターリース。
年間売上目標	約28億円
投資額	約6億円
開店日	2010年3月31日(水)
営業時間(予定)	物販:午前10時30分～午後9時30分 飲食:午前11時30分～午後10時30分 ※店舗・季節により異なる場合がございます。
店舗数	108 店舗

【参考:PARCO(Singapore) Pte Ltd について】

PARCO(Singapore)Pte Ltd(パルコシンガポール社)は、株式会社パルコの100%子会社として、シンガポールを拠点に海外ビジネスの積極的な展開を図っています。

当社の海外事業部と連動し、ショッピングセンター事業の開発・運営ノウハウを成長著しいアジア各国で活用することを主要業務としながら、グローバル化が進むアジア地域において、日本と各国がさまざまな分野で交流を図るための架け橋的な役割も目指しています。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社パルコ

＜PARCO Marina Bay に関するお問い合わせ＞

経営企画室 情報企画部(広報)

TEL 03-3477-5710

FAX 03-3477-5769

＜現地ご取材に関するお申し込み＞

PARCO(Singapore) Pte Ltd

TEL 65-6595-9100(代表)

FAX 65-6238-7662